

インターネットを使った金融取引について

1. インターネット上での金融取引の種類（複数回答）

「インターネットバンキング」は、銀行・郵便局等の振込・残高照会などをインターネット上で行えるサービスをいいます（携帯電話を使用する場合を含む）。

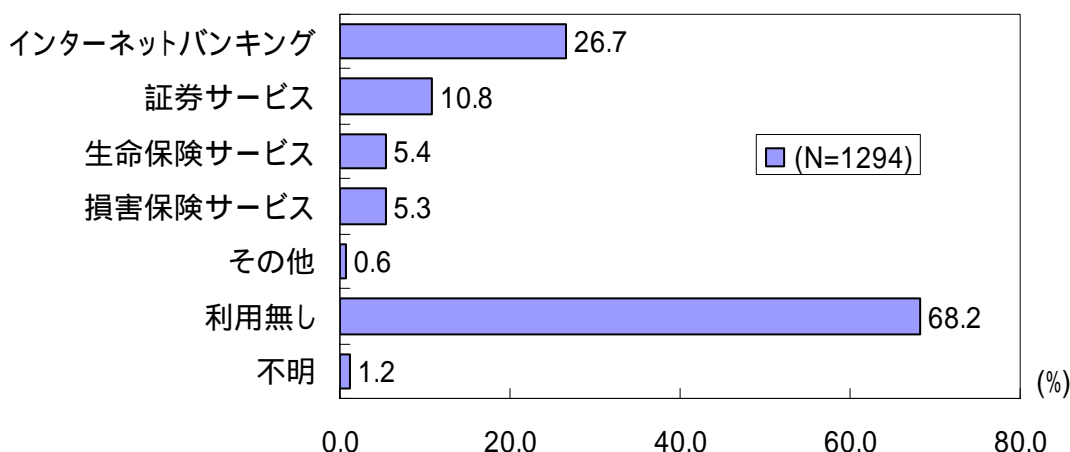
(問11で「インターネットを利用している」に つけた世帯にお伺いします。)

問12 インターネット上で下記の金融サービスを利用したことがありますか。利用したことがあるサービスを全てお答えください。(はいくつでも)

また、利用したことがあるサービスについては、最近3ヶ月間に何日くらいご利用になりましたか。サービスごとに利用した日数を にご記入ください。

インターネットを利用している世帯(N=1294)について、利用しているインターネット上の金融取引の種類をみると、「インターネットバンキング」(26.7%)の割合が最も高く、次いで「証券サービス」(10.8%)、「生命保険サービス」(5.4%)、「損害保険サービス」(5.3%)となっている。一方、「インターネット上で金融サービスを利用したことはない」世帯は 68.2%であり、インターネット利用者の半数以上がインターネット上で金融取引を利用していない結果となっている。

**インターネット利用者におけるインターネット上で
利用したことがある金融サービス(複数回答) < 全世界帯 >**

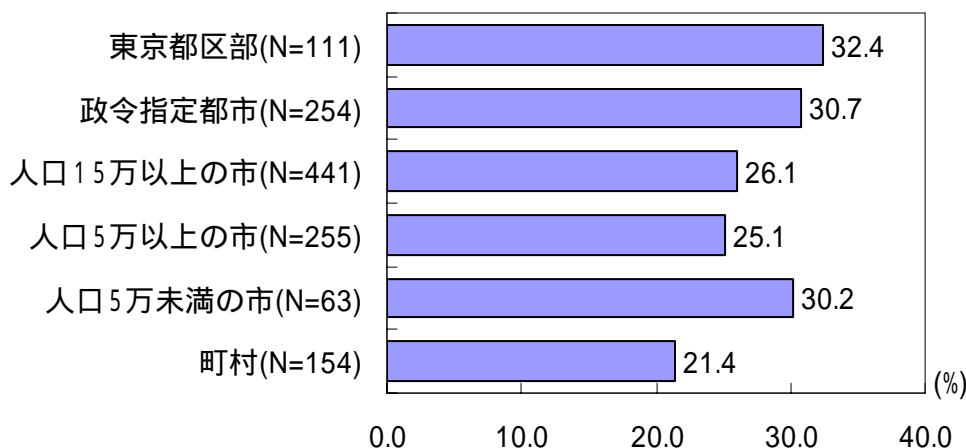


(1)インターネットバンキング

<都市規模別> (全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、都市規模別にインターネットバンキングの利用率をみると、「東京都区部」(32.4%)、「政令指定都市」(30.7%)、「人口5万人未満の市」(30.2%)となっており、都市規模による利用率の差は特にみられない。

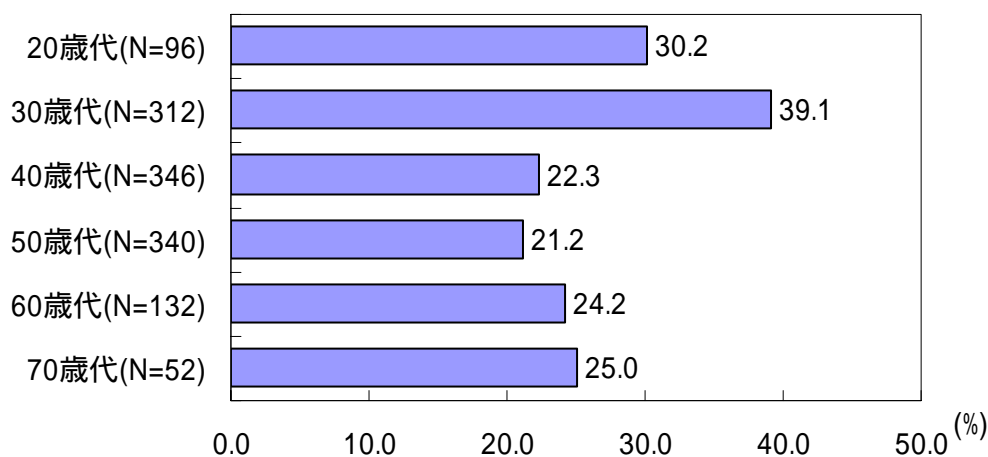
都市規模別 インターネットバンキング利用率
(インターネット利用世帯) <全世帯>



<世帯主年齢別> (全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯主年齢別にインターネットバンキングの利用率をみてみると、20歳代、30歳代ではその利用率が3割を超えており、特に30歳代では4割近くになっている。また、40歳代以上では2割強の利用率があり、世代間の差はさほどみられない。

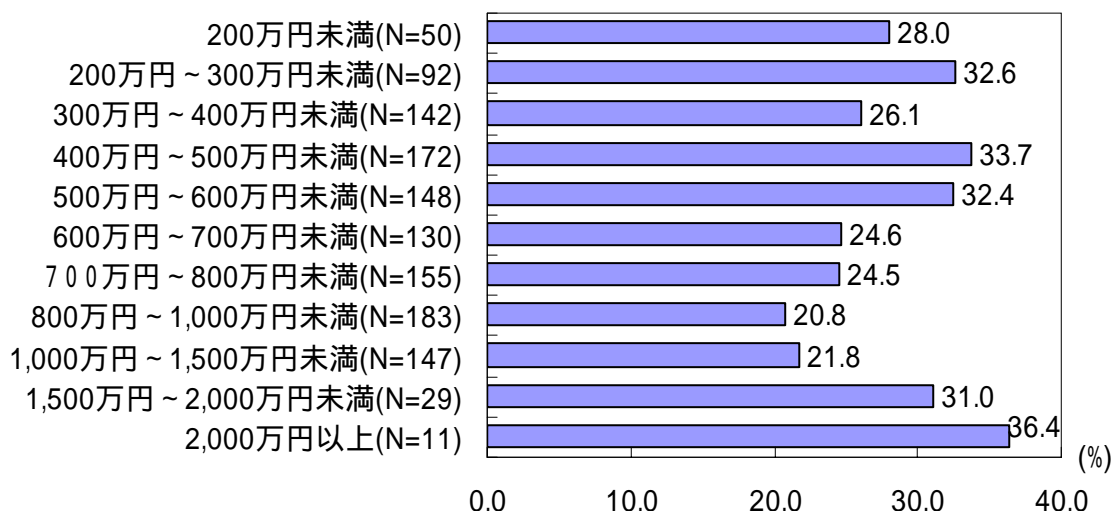
世帯主年齢別 インターネットバンキング利用率
(インターネット利用世帯) <全世帯>



< 世帯年収別 > (全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯年収別にインターネットバンキングの利用率をみたところ、どの世帯も2割以上の利用率があり、「200万円～300万円未満」(32.6%)、「400万円～500万円未満」(33.7%)、「500万円～600万円未満」(32.4%)、そして世帯年収「1,500万円以上」の世帯の利用率は3割を超えている。ただし、世帯年収が1,500万円以上の世帯のサンプル数が少ないことに留意が必要である。

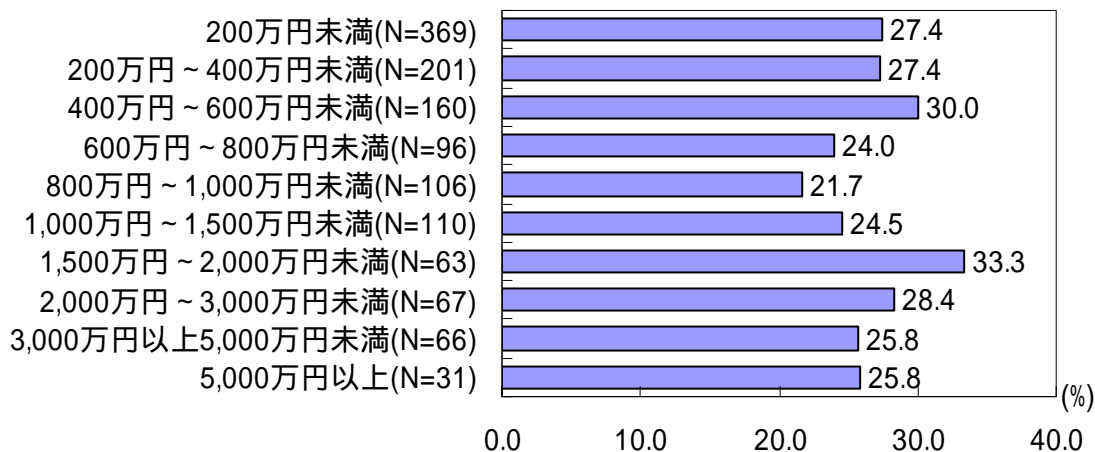
世帯年収別 インターネットバンキング利用率
(インターネット利用世帯) < 全世帯 >



< 世帯貯蓄総額別 > (全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯貯蓄総額別にインターネットバンキングの利用率をみたところ、どの世帯も2割以上の利用率があり、「400万円～600万円未満」(30.0%)、「1,500万円～2,000万円未満」(33.3%)の利用率は3割を超えている。

貯蓄総額別 インターネットバンキング利用率
(インターネット利用世帯) < 全世帯 >

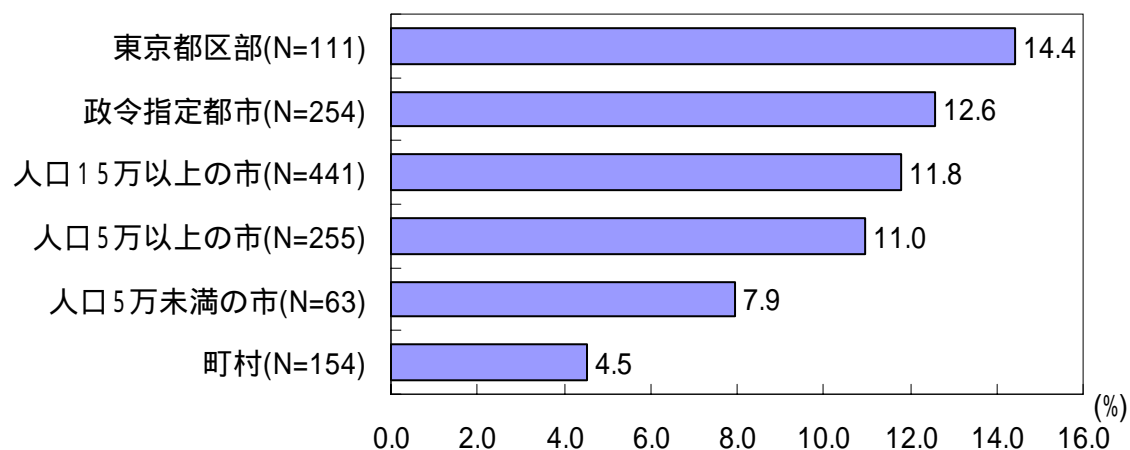


(2)証券サービス

<都市規模別> (インターネット利用全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、都市規模別に証券サービスの利用率をみると、「東京都区部」(14.4%)で最も高く、次いで、「政令指定都市」(12.6%)、「人口15万人以上の市」(11.8%)となっており、人口規模が少なくなるにつれてその利用率は減少していることがわかる。

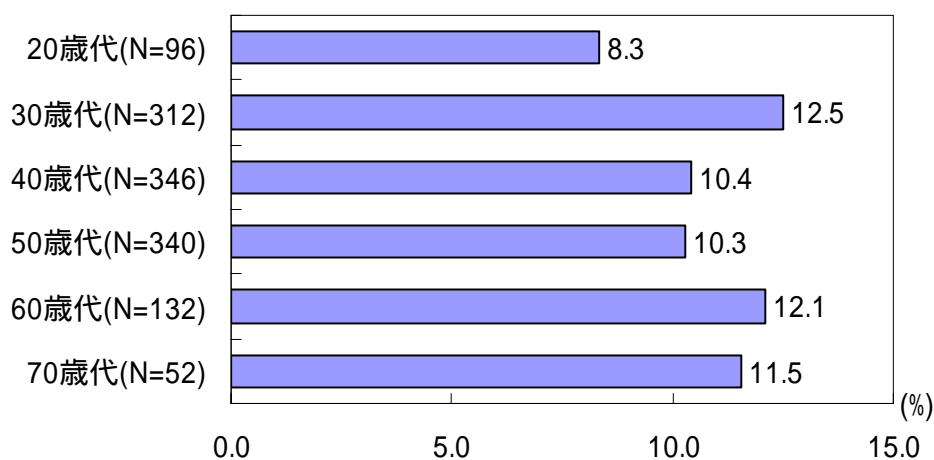
都市規模別 証券サービス利用率(インターネット利用世帯)



<世帯主年齢別> (インターネット利用全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯主年齢別に証券サービスの利用率をみてみると、30歳代の利用率が最も高く、次いで、60歳代、70歳代の利用率が高くなっている。

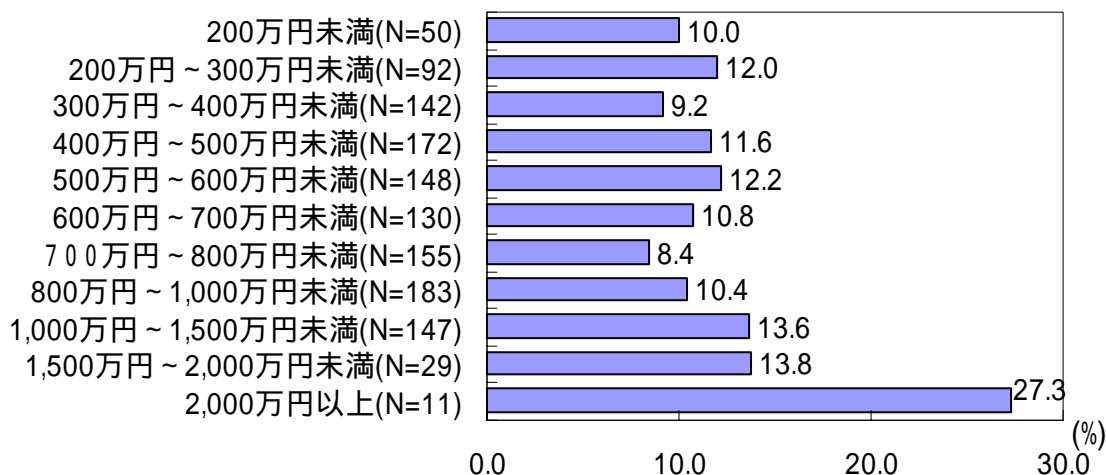
**世帯主年齢別 証券サービス利用率
(インターネット利用世帯)**



<世帯年収別> (インターネット利用全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯年収別に証券サービスの利用率をみると、世帯年収 1,000 万円以上の世帯での利用率は他の世帯に比べ相対的に高くなっている。なお、世帯年収が 2,000 万円以上の世帯のサンプル数が少ないことに留意が必要である。

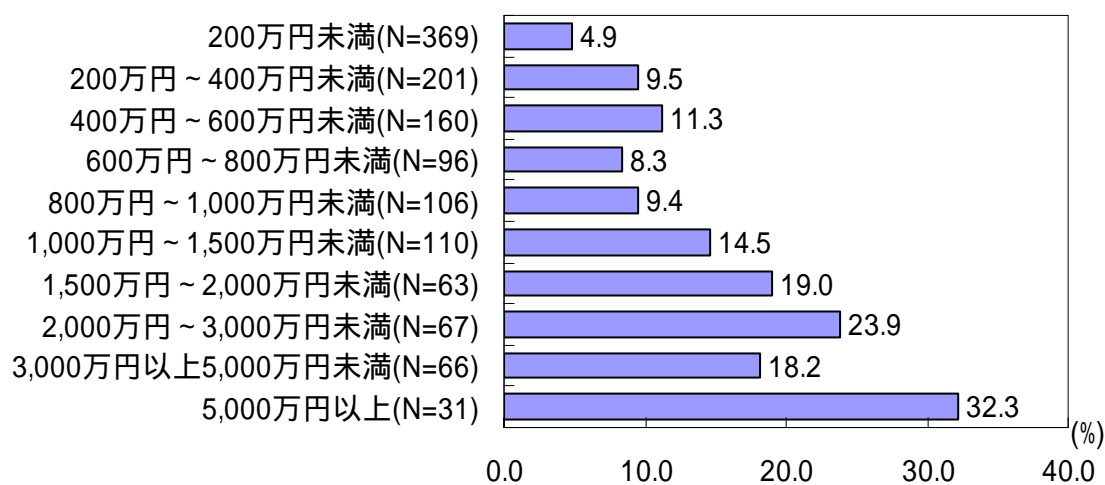
世帯年収別 証券サービス利用率(インターネット利用世帯)



<世帯貯蓄総額別> (インターネット利用全世帯)

インターネットを利用している全世帯について、世帯貯蓄総額別に証券サービスの利用率をみると、貯蓄総額 1,500 万円以上の世帯では約 2～3 割の利用率があり、その割合は貯蓄総額 1,000 万円未満の世帯の約 2 倍になっている。

貯蓄総額別 証券サービス利用率(インターネット利用世帯)

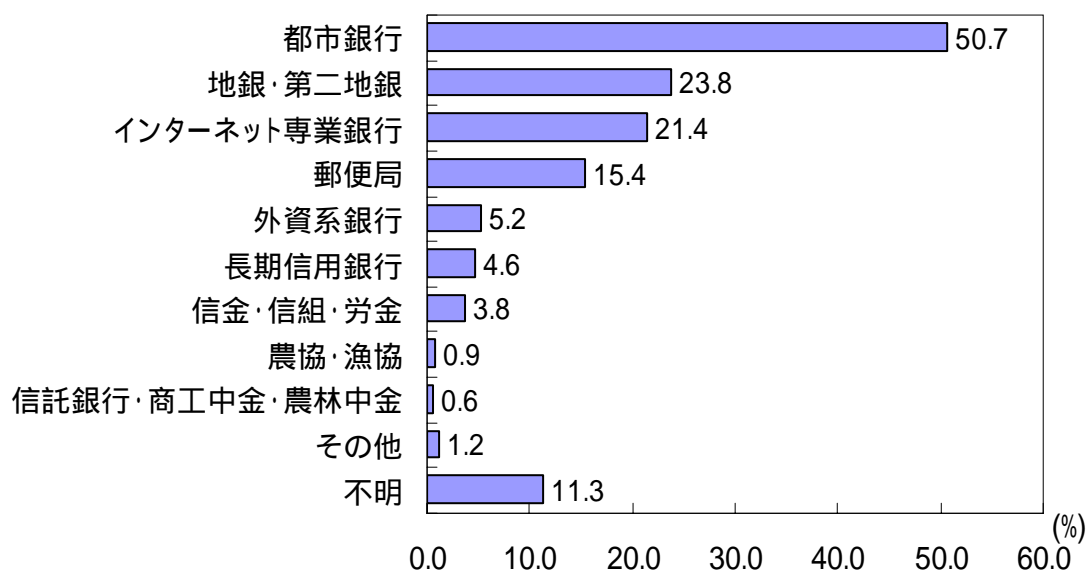


2. インターネットバンキングを利用したことがある金融機関（複数回答）

問15 インターネットバンキングを利用したことがある金融機関はどれですか。（はいくつでも）

インターネットバンキングを利用したことがある世帯(N=345)に、利用したことがある金融機関をきいたところ、「都市銀行」(50.7%)の割合が最も高く、以下、「地銀・第二地銀」(23.8%)、「インターネット専門銀行」(21.4%)、「郵便局」(15.4%)の順となっている。

インターネットバンキングで利用した金融機関(複数回答) (インターネット利用世帯)



3. インターネットバンキングに対する考え（複数回答）

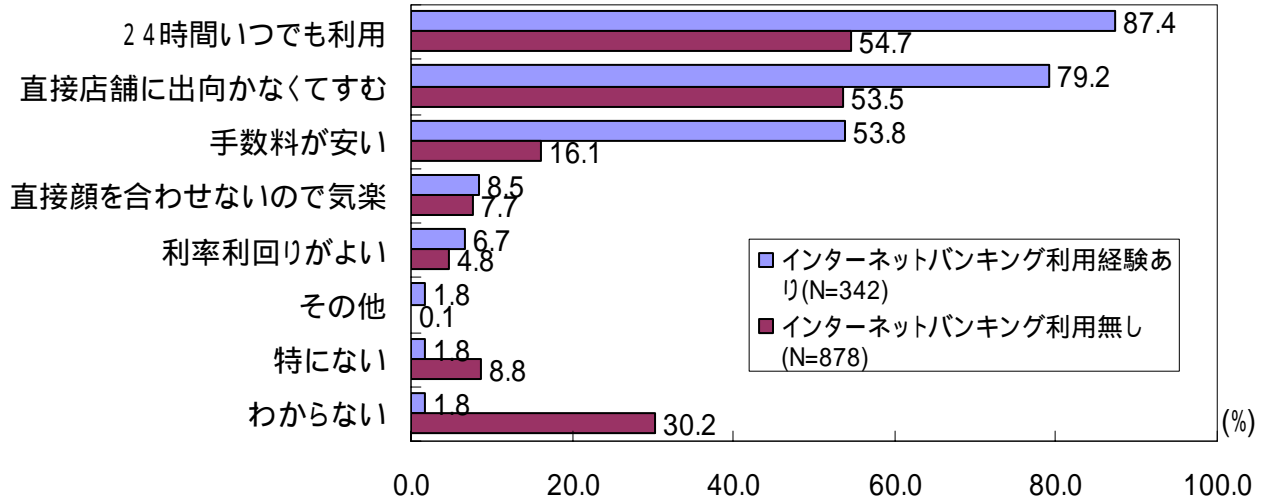
(すべての世帯にお伺いします。)

問17 インターネットバンキングについて、どのようにお考えですか。メリット(良い点)、デメリット(悪い点)それぞれについてお答えください。（はいくつでも）

(メリット)

インターネットバンキングについてメリット(良い点)をきいたところ、インターネットバンキングの利用経験がある世帯では、「24時間いつでも利用できる」(87.4%)の割合が最も高く、以下、「直接店舗に出向かなくてもすむ」(79.2%)、「手数料が安い」(53.8%)の順となっている。また、インターネットバンキングを利用していない世帯においても、「24時間いつでも利用できる」(54.7%)、「直接店舗に出向かなくてもすむ」(53.5%)、「わからない」(30.2%)の順となっている。

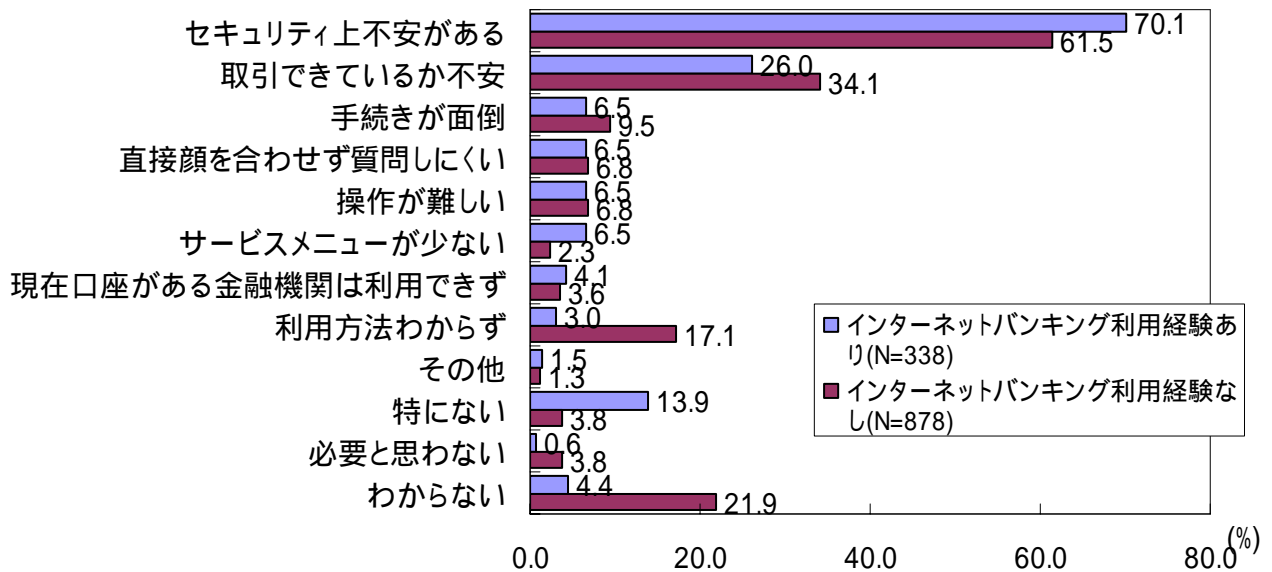
**インターネットバンキング利用経験別
インターネットバンキングに対する考え(メリット) <全世帯>**



(デメリット)

インターネットバンキングについてデメリット(悪い点)をきいたところ、インターネットバンキングの利用経験がある世帯では、「セキュリティ上不安がある」(70.1%)の割合が最も高く、以下、「ネット上だけでは取引ができていないか不安」(26.0%)、「特になし」(13.9%)の順となっている。また、インターネットバンキングを利用していない世帯においても、「セキュリティ上不安がある」(61.5%)、「ネット上だけでは取引ができていないか不安」(34.1%)といった項目が上位にあげられている。また、「利用方法がわからない」(17.1%)をあげた割合も高い。

**インターネットバンキング経験別 インターネットバンキングに対する考え
(デメリット)(複数回答) <全世帯>**



4. インターネットバンキングの今後の利用意向（複数回答）

(問18で「1 利用したい」と回答した世帯にお伺いします。)

問18付問1 今後、インターネットバンキングで、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(はいくつでも)

全世帯に、今後、インターネットバンキングでどのようなサービスを利用したいか聞いたところ、インターネットバンキングを利用している世帯では、「住所変更等の各種届出」(28.8%)の割合が最も高い。

一方、インターネット上で金融取引を利用していない世帯では、「残高明細等の照会」(81.9%)の割合が最も高く、以下、「振込(インターネット上の取引の決済を除く)」(69.1%)、「住所変更等の各種届出」(47.9%)となっている。

利用経験別 インターネットバンキングで今後利用したいサービス (複数回答) <全世帯>

